

やります！ **電話一本** 出前の政治

神奈川県議会議員

杉山のぶお



杉山のぶお議会報告

県政レポート 平成31年新年度号

■ 県政史上初の3会計総額4兆円超え！！

神奈川県議会 平成31年第一回定例会は、総額4兆155億円の2019年度当初予算案などを可決・同意し、3月15日に閉会しました。

4月に県知事選を控え、一般会計は義務的経費が中心の骨格予算となりましたが、少子高齢化と深刻な人口減少を見据え、900万人の神奈川県民が安心して暮らせる「生活に密着した施策」です。

逼迫する財政状況であっても揺るがない持続可能な社会を築くために、重点施策に財源を集中し、県民福祉向上にとりくんでまい

ります。

一般会計の予算規模は総額1兆8,299億余万円でした。今回の予算は県民一人あたり、19万8,299円、このうち教育に使うお金は4万4,316円、高齢者や障害者、児童に使うものが、3万803円、警察に使うものが、2万1,614円、医療に使うものが2万1,260円、そして道路や市街地整備などの土木費が9,973円などとなっております。

(下図をご参照下さい)

● 予算の規模

一般会計	1兆8,299億円	(0.2%減)
特別会計	2兆 719億円	(1.7%増)
企業会計	1,136億円	(3.2%減)
総 額	4兆 155億円	(0.7%増)

※億単位未満切り捨て。(カッコ内は2018年度当初予算額との比較)

● 平成31年度 主な新規事業

- ◆ 県西地域活性化プロジェクト推進費 (9,643万円)
- ◆ とともに生きる社会推進事業費 (4,252万円)
- ◆ 高度職業訓練の推進 (1億1,423万円)
- ◆ 民間業者などと連携した外国人観光客誘致 (1,793万円)
- ◆ 蓄電池導入費補助 (1億5,600万円)
- ◆ 大規模イベントに向けた対策 (2,836万円)
- ◆ 短時間保育士雇上事業費補助 (1,224万円)
- ◆ 20年東京五輪セーリング競技 (10億9,067万円)
- ◆ インクルーシブ教育校内支援体制整備事業費 (2,884万円)

■ 第一回定例県議会で可決された 主な条例と内容

「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」

県内における自転車と歩行者による交通事故が増えている現状や自転車事故加害者に1億円近い高額賠償が求められるケースを踏まえ、自転車の安全適正利用のため、教育の実施や自転車損害賠償責任保険(自転車保険)の加入を義務化を制定しました。施行期間は平成31年4月1日。(保険加入義務は6ヶ月の周知期間を入れ10月1日から)自転車向け保険のほか自動車、火災保険の特約、PTA保険などがありますのでご確認ください。

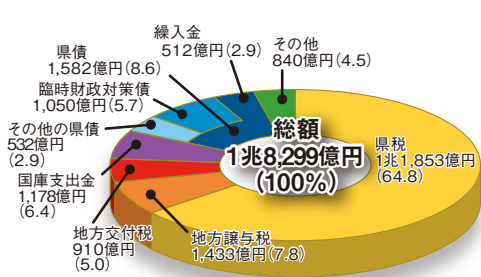
「動物の愛護及び管理に関する条例(改正)」

犬や猫が増えすぎて管理しきれなくなる多頭飼育崩壊(不適正飼育や悪臭など近隣の生活環境の悪化)の防止や飼い主への支援や指導を可能とすることが目的です。10匹以上飼育する場合は、届け出が義務化されます。本条例は、政令市を除く県域が対象で施行日は10月1日です。

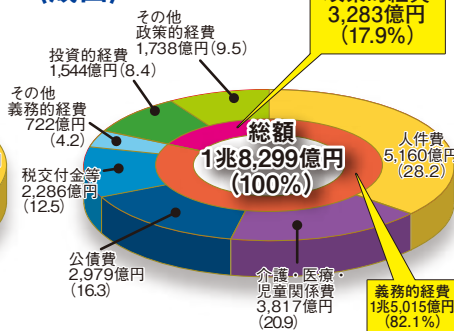
「県行政機関設置条例(改正)」

川崎合同庁舎(川崎区富士見)の老朽化等を踏まえ、県税事務所を川崎区役所があるパーレル三井ビル(川崎区東田町)に移転します。施行期間は7月から8月中旬までに移転を予定しています。

〈歳入〉

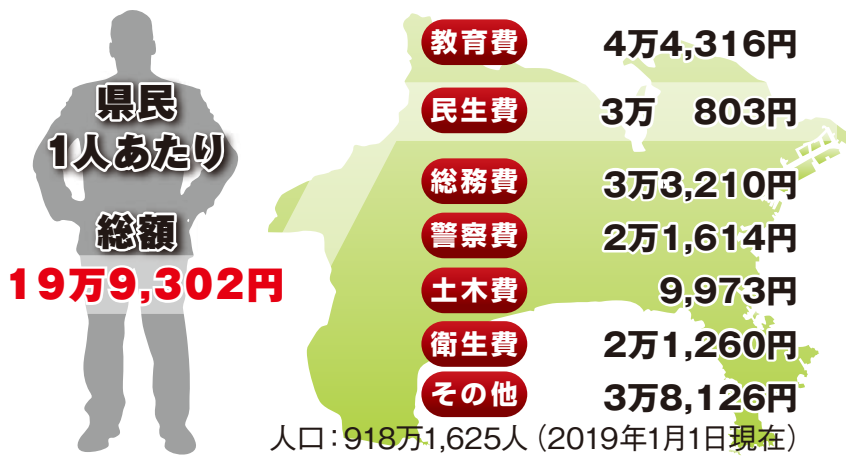


〈歳出〉



※()内は%。項目は主なもの。億単位未満切り捨てのため、合計が一致しない場合があります。

● 2019年度当初予算の使いみち



杉山のぶお事務所 〒210-0836 神奈川県川崎市川崎区大島上町25-5

☎044-344-5555



私たちが 一人ひとりの行動が、 未来につながる

神奈川県は、「SDGs未来都市」として、昨年9月に「かながわプラスチックごみゼロ宣言」を発表し、自分たちの身近なプラスチックごみとなって、地球規模の環境問題につながっているとの認識のもと、様々な取組を進めてきました。



私たちが一人ひとりの行動が、未来につながる。SDGs未来都市 神奈川県

SDGsとは、Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際社会共通の目標で、17のゴールが設定されています。私は「S(すてきな)D(デザイン)、17のGs(ゴール)」と提唱しています。

昨年12月から県では、この取組の輪を広げるため、「かながわプラスチックごみゼロ宣言」に賛同し、県とともにプラスチックごみゼロに向けた具体的な行動を行っていただく企業・団体・学校を募集しています。これまで94の企業等(企業81、団体10、学校3)が賛同しました(本年1月末現在)。今後は、賛同いただいた企業等とともに、啓発イベントを実施していく予定です。

杉山のぶおは、使い捨てのライフスタイルを変える社会づくりのために努力して参ります。

国連でSDGsが採択されたときに、国連ビルの壁にプロジェクションマッピングで描かれたSDGsの17のゴール(写真：国際連合広報局)



プラスチックを減らし、海をきれいにするのが目標14「海の豊かさを守ろう」と目標3「すべての人に健康と福祉を」に結びつく。



使い捨てプラスチックをなるべく使わない・捨てないことにより廃棄物が削減され、目標12「つくる責任 つかう責任」に結びつく。



こうした取組は、県、市町村、企業、県民など様々な関係者との連携・協働が不可欠となり、目標17「パートナーシップで目標達成」に結びつく。



神奈川県議会議員

杉山のぶお やります! 電話一本 出前の政治
☎044-344-5555

〒210-0836 神奈川県川崎市川崎区大島上町25-5